

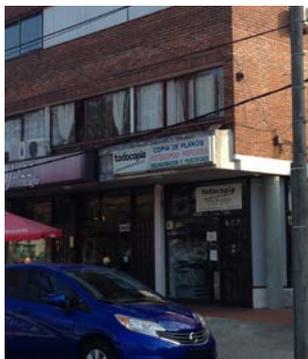
とうとう RamsarCOP12 の初日がやってきた。2日にある WWN とのプレ COP・NGO ミーティングのフライヤーのコピー、展示会場の設営、地球環境基金への提出書類とやるのが山積みの1日だった。

●市バスの乗り方

宿泊しているホテルではコピーサービスがないので、大量コピーのできる場所を聞いたところ、隣のマルドナド市役所の近くの TODO COPIA というキンコーズのような所を教えてもらった。市内循環バスの乗り方を教わり、いざ出発しようと思ったが、とにかく時間が惜しいので、バスターミナルから行こうと10分かけてターミナルに歩いて行っても、結局はターミナルからは隣のバスは無いとのこと。結局バス停でバスを待つことに。しかし、どういう訳かバスが来ない。貴重な朝の時間をバスを乗るといっただけのために50分もロスしてしまった。何とかマルドナドの町に辿り着いたのは昼前だった。ちなみに、バスは1回乗ると25\$ (ウルグアイ・ペソ) かかる。

●コピーサービス

市役所を挟んで北と南に2件コピーサービス店があるが北の方の店がお薦めよとホテルで聞き、店に向かった。USB メモリスティックにすべて PDF に変換して持参した。出力はインクジェットプリント (片面) のみ。コピーマシンはオリベッティ製で、紙詰まりがひどい。老いたジャンレノ似の店主が全ての機械操作を行う。プレ COP・NGO ミーティング用の両面チラシを50枚依頼したが、何度もローラーに詰まり、捨てた紙は15枚。お薦めされなかった南側の店にも行き、比べるためにいくつかのコピーを依頼したところ、こちらの方が若いスタッフと新しいマシンのようで少し良いようである。次は、こちらに行こう。



左：市役所の北側にあるホテルお薦めの todocopia (プンタ版コピーサービス)



右：市役所の南にあるもう一方の店。若者が運営していて少しだけ設備が新しい

●両替え所

2日の会議通訳者に通訳料を支払うために日本円を米ドルに換金する必要があった。街中にはあちこちに Cambio という両替所があるが、銀行の方が安心だと思いき、銀行に行ったがどこも日本円を扱わないとのこと。調べてもらったところ、プンタ・デル・エステの中にある GALES という両替所で換金できるということで、バスでプンタに戻り、町を歩き店を探した。無事に換金できたが、レート US\$=137円と悲しい結果だった。



日本円が換金できる両替所 GALES Cambio

●コンラッド展示ブースの設置

やっと午後になってからコンラッド会場に戻ることができた。カジノのある正面入り口から入るとスルスル〜とセキュリティ無しで、会場に入ってしまった。そして、展示場にも入れてしまった。セキュリティはユルユルの会場だ。それでも、登録名札が無いと心もとないもので、入り口で登録を済まし、展示の設置に取り掛かった。会員の皆さんが協力してくれて、無事に数時間で展示を完成させることができた。

会議の後半から参加されることになっている (株) アレフのバナーも、丁度テーブルの前部分にピッタリでいい感じに仕上がった。



展示の手伝いに来てくれたみなさん

注文していたテーブルと異なるテーブルが置いてあった件については、謝罪なし。用意したテーブルがワンランク格下のテーブルだったので、その分の10ドルを値引きするだけだと提示するメールが来た。値引きはいいから注文した品物に交換してほしいと頼んだが、「もうその机は無いので無理です」という。

一ヶ月も前にカタログを見て、前金を支払ったのに当日現場での説明も謝罪もない。日本では考えられないけど、それもこれも多様性、世界は広い。



展示が完成！ 最大功労賞の織内さん

●夜～明け方

4時間遅れて無事にプンタ入りしたラムネットJ事務局長の浅野さん御一行と合流して夕食に出かけた。地球環境基金の修正書類の提出締め切りまであと7時間。作業する時間を考えると何時間眠れるのか？計算しつつ、時差ぼけの影響もあって、意志や根性ではもはや阻止できない寝落ち現象と作業との闘いが続く。明日は、プレ COP・NGO 会議だから、早めに会場に行かないと・・・。